

施策分析シート（平成30年度）

No1

施策名	創業・新事業創出の支援	施策No	05-02	部課名	産業経済部経営支援課		
関連部課名							
行政評価事業体系	分野	産業革新都市					
	政策	05	活力ある地域経済づくり				

目的 創業・起業や新たな事業への取組を支援し、区内企業数の増加を図るとともに、新産業の創出につなげる。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		27年度	28年度	29年度			
	まちの産業	2.51	2.57	2.56	荒川区の企業（お店や町工場など）は元気で活力があると感じますか？		
標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		27年度	28年度	29年度	30年度見込み	目標値(38年度)	
	セミナー受講者の開業率（%）	20	20	21	33	30	スタートアップ受講者の開業率
	創業支援融資実行件数（件）	30	23	27	35	40	
	新製品・新技術の開発件数（MACCプロジェクト）（件）	4	5	2	2	5	MACCプロジェクト参加企業の開発等件数
	産学連携研究開発等補助件数（件）	14	7	13	14	20	

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額			28年度	29年度	差額	
行政費用	給与関係費	45,769	50,072	4,303	地方税	0	0	0	
	物件費	11,967	15,939	3,972	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支支出金	3,776	6,467	2,691	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	19,555	18,905	650	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	3,776	6,467	2,691	
	賞与・退職給与引当金繰入額	4,261	5,351	1,090	行政収支差額(a)-(b)=(c)	77,776	83,800	6,024	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	81,552	90,267	8,715	通常収支差額(c)+(d)=(e)	77,776	83,800	6,024	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	77,776	83,800	6,024		
貸借対照表	勘定科目				流動負債	勘定科目			
	28年度	29年度	差額			28年度	29年度	差額	
流動資産	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	937	1,148	211	
固定資産	有形固定資産	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	
	土地	0	0	0	固定負債	9,447	9,395	52	
	建物	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	建物減価償却累計額	0	0	0	退職給与引当金	9,447	9,395	52	
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	10,384	10,543	159	
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	10,384	10,543	159	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	10,384	10,543	159		
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0		
資産の部合計	0	0	0						

財務諸表に関する特徴的事項等

財務諸表の項目では、行政費用として補助費等が大きな割合を占めており、起業家支援育成事業、産学連携推進事業など様々な補助に取り組んでいる。物件費としては産学連携推進事業における地域金融機関連携型課題解決支援事業の委託料が多くを占め、地域産業活性化を目的とした様々なプログラムを実施している。

行政収入は、主に産学連携推進事業及び地域産業創出プロジェクト推進事業で活用した東京都の補助金である。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>国や都と同様に、企業経営者の高齢化・後継者不足等により、荒川区においても事業所数の減少傾向が続いている。荒川区は、事業所の約2割を製造業が占めるモノづくりの盛んなまちであり、23区では、墨田区に次いで2位の集積度（平成26年経済センサス）を誇っている。</p> <p>区内で創業・起業した事業所数は、廃止事業所数を下回る状況である。荒川区内での新設は1,298事業所、廃止は1,501事業所（平成26年経済センサス）</p> <p>創業に関する支援融資実行件数は、創業専用総合窓口や国の認定を受けた荒川区創業支援事業計画に基づき、民間の支援事業者や地域金融機関と連携を進め、ここ27年度から30年度の間は年23件から30件の間で推移している。</p>
課題	<p>創業支援に関する施策情報を、将来有望な潜在的創業希望者に確実に届けるため、より積極的かつ多角的な情報提供を行う必要がある。</p> <p>創業者の持続的な成長を図るため、創業期における限られた経営資源の有効活用や経営基盤の安定化を支援していく必要がある。</p> <p>日暮里繊維街など豊かな地域資源を生かした支援策を構築していく必要がある。</p>
今後の方向性	<p>創業支援事業計画の認定支援事業者である、中小企業診断士等の団体や金融機関等との連携を深め、情報提供のチャンネルの多角化を行いながら、意欲的な創業希望者との接触を図り、創業数の増加につなげていく。</p> <p>創業支援融資の積極的な活用を促進し、意欲的な創業希望者の資金需要に対応する。</p> <p>新たに平成32年度に竣工予定の「（仮称）日暮里地域活性化施設」の中に、デザイン関係等のインキュベーション機能（1）を設置するなど、区内の地域資源を最大限活用して創業・起業の支援を行う。</p> <p>1：インキュベーション機能…起業家を育成・支援する機能。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
30年度	31年度	
重点的に推進	重点的に推進	<p>区内での創業・起業を支援し、モノづくりクラスター形成に向けたACCプロジェクトや産学連携を推進することは、区内産業の活性化のためには極めて重要であり、当該施策の優先度は極めて高い。</p>

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用(千円)		決算額(千円)		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		28年度	29年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
モノづくりクラスター形成促進事業	06-02-04	30,111	25,282	22,516	21,244	重点的に推進	重点的に推進	荒川区の地域経済活性化のためには、モノづくり産業の集積や地域経済の豊かさを活かした「産学官の顔の見えるネットワーク」構築を軸とした「荒川版クラスター」の形成に向けた取組が極めて重要である。
産学連携推進事業	06-02-05	18,985	23,104	12,750	13,875	重点的に推進	重点的に推進	MACCプロジェクトを推進し「産学官の顔の見えるネットワーク」を構築するために、大学等が有する専門知識を活用した産学共同による新製品・新技術開発を支援することは極めて重要である。
地域産業創出プロジェクト推進事業	06-02-06	3,203	12,779	369	5,856	重点的に推進	重点的に推進	本事業は、ビジネスプランコンテストや近隣区とのネットワーク組成を柱とした産学連携支援を通じた産業の創成と活性化を目的とし、従来とは異なる新しいアプローチでの企業支援を積極的に推進していく。
起業家支援育成事業	06-02-07	17,856	19,142	11,055	11,644	重点的に推進	重点的に推進	創業支援は、創業期にある事業者の成長にとって不可欠なものであり、区内産業の活性化及び雇用や地域の賑わい創出の観点からも極めて重要である。
TASKプロジェクト事業	06-02-18	5,889	5,343	1,921	1,882	推進	推進	区を越えた企業間交流による新製品や新技術開発の端緒となる事業であり重要である。
荒川区新製品・新技術大賞	06-02-19	5,507	0	2,673	0	継続	休止・完了	本事業は、新製品の開発機運を醸成するだけでなく、様々な経営革新を進めていくうえで、有効であることから、今後も適切に制度設計をしながら、隔年で実施していく。
ファッション系クリエイター向け創業支援施設開設準備	06-02-28	-	4,614	-	-	重点的に推進	重点的に推進	日暮里繊維街においてファッション系クリエイターの支援を実施することは、区の産業の活性化を図るうえで重要な施策のひとつである。
合計		81,551	90,264	51,284	54,501			